- 36 植物・土壌中代謝分解物(代謝物【M8】ジヒドロキシ体)のラットを用いた急性経口毒性試験 代・混-4: Bayer Health Care AG (ドイツ)、2005 年、未公表
- 37 ラットを用いた急性神経毒性試験 原体-7: Bayer CropScience LP(ドイツ)、2005 年、未公表
- 38 ウサギを用いた皮膚刺激性試験 原体-4: LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology KG、2002 年、未公表
- 39 ウサギを用いた眼刺激性試験 原体-5: LPT Laboratory of Pharmacology and Toxicology KG、2002年、未公表
- 40 モルモットを用いた皮膚感作性試験 原体-6: Bayer AG (ドイツ)、2002 年、未 公表
- 41 ラットを用いた 90 日間反復経口投与毒性試験 原体-11:Bayer CropScience LP (ドイツ)、2005 年、未公表
- 42 マウスを用いた 90 日間反復経口投与毒性試験 原体-12:Bayer CropScience LP (ドイツ)、2005 年、未公表
- 43 イヌを用いた 90 日間反復経口投与毒性試験 原体·13: Bayer CropScience LP (ドイツ)、2005 年、未公表
- 44 ラットを用いた 4 週間 (週 5 日投与) 反復経皮投与毒性試験 原体-14: Bayer CropScience LP (ドイツ)、2006 年、未公表
- 45 ラットを用いた飼料混入投与による 1 年間反復経口投与毒性毒性試験 原体-18: Bayer CropScience LP (ドイツ)、2005 年、未公表
- 46 イヌを用いた 1 年間反復経口毒性試験 原体-19: Bayer CropScience LP (ドイツ)、2005 年、未公表
- 47 ラットを用いた飼料混入投与による発がん性試験 原体-20: Bayer CropScience LP (ドイツ)、2006 年、未公表
- 48 マウスを用いた飼料混入投与による発がん性試験 原体-21: Bayer CropScience LP (ドイツ)、2006 年、未公表
- 49 ラットを用いた繁殖毒性試験 原体-22: Bayer CropScience LP (ドイツ)、2006 年、未公表
- 50 ラットを用いた催奇形性試験① 原体-23: Bayer HealthCare AG (ドイツ)、 2004年、未公表
- 51 ラットを用いた催奇形性試験② 原体-24: Bayer HealthCare AG (ドイツ)、 2004年、未公表
- 52 ウサギを用いた催奇形性試験 原体-25: Bayer HealthCare AG (ドイツ)、2004年、未公表
- 53 細菌を用いる復帰突然変異試験① 原体-26: Bayer HealthCare AG(ドイツ)、2002 年、未公表
- 54 細菌を用いる復帰突然変異試験② 原体-27: Bayer HealthCare AG(ドイツ)、 2006 年、未公表

- 55 チャイニーズハムスター由来 V79 培養細胞を用いた *in vitro* 染色体異常試験① 原体-28: Bayer HealthCare AG (ドイツ)、2002 年、未公表
- 56 チャイニーズハムスター由来 V79 培養細胞を用いた *in vitro* 染色体異常試験② 原体-29: Bayer HealthCare AG (ドイツ)、2003 年、未公表
- 57 V79-HPRT (前進突然変異) 法による in vitro 変異原性誘発試験 原体-30: Bayer Health Care AG (ドイツ)、2002 年、未公表
- 58 マウスにおける小核試験 原体-31: Bayer HealthCare AG (ドイツ)、2002 年、未公表
- 59 マウスの骨髄細胞を用いた *in vivo* 染色体異常試験 原体-32:RCC CYTOTEST CELL RESEARCH GmbH、2003 年、未公表
- 60 ラットの肝細胞を用いた *in vivo* 不定期 DNA 合成試験 原体-33: Bayer Health Care AG (ドイツ)、2003年、未公表
- 61 動・植・土・土光中代謝分解物(代謝物【M5】ケトヒドロキシ体)の細菌を用いた復帰 突然変異試験 代・混・5: Bayer HealthCare AG (ドイツ)、2005 年、未公表
- 62 動・植物中代謝分解物 (代謝物【M6】脱メチルケトヒドロキシ体) の細菌を用いた復帰突 然変異試験 代・混-6: Bayer HealthCare AG (ドイツ)、2006 年、未公表
- 63 動・植物中代謝分解物(代謝物【M7】モノヒドロキシ体)の細菌を用いた復帰突然変異 試験 代・混-7: Bayer HealthCare AG (ドイツ)、2005 年、未公表
- 64 植物・土壌中代謝分解物(代謝物【M8】ジヒドロキシ体)の細菌を用いた復帰突然変異 試験 代・混-8: Bayer HealthCare AG (ドイツ)、2006 年、未公表
- 65 雄 ラットを用いた連 続 経 口 投 与 による 繁 殖 毒 性 の 評 価 原 体 -35: Bayer CropScience (ドイツ)、2005 年、未公表
- 66 雄ラットを用いた代謝物エノール体の連続経口投与による繁殖毒性の評価 原体 -36: Bayer CropScience (ドイツ)、2006 年、未公表
- 67 食品健康影響評価について

(URL: http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-spirotetramat_k_200818.pdf)

68 第 251 回食品安全委員会

(URL: http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai251/index.html)

- 69 第20回食品安全委員会農薬専門調査会確認評価第一部会
 - (URL: http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kakunin1_dai20/index.html)
- 70 作物残留試験(オーストラリア):バイエル クロップサイエンス株式会社、2008 年、 未公表
- 71 第 48 回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会

(URL: http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai48/index.html)